

ヘルペスウイルス薬 Ver1

2024年6月1日作成

推奨	推奨		オプション		
一般名	バラシクロビル		アメナメビル	ファムシクロビル	
代表的な製品名	GE	バルトレックス(先発)	アメナリーフ(先発)	GE	ファムビル(先発)
単純疱疹1日薬価	107 ^{・8} ~357 ^{・0} 円 (1000mg/日)	431 ^{・0} 円 (1000mg/日)	7291 ^{・8} 円 (1200mg/日)※1	234 ^{・0} ~273 ^{・3} 円 (750mg/日)	871 ^{・2} 円 (750mg/日)
带状疱疹1日薬価	323 ^{・4} ~1071 ^{・0} 円 (3000mg/日)	1293 ^{・0} 円 (3000mg/日)	2430 ^{・6} 円 (400mg/日)	468 ^{・0} ~546 ^{・6} 円 (1500mg/日)	1742 ^{・4} 円 (1500mg/日)
効能・効果	単純疱疹 造血細胞移植における単純疱疹の発症抑制 水痘 带状疱疹 性器ヘルペスの再発抑制		带状疱疹 再発性の単純疱疹	単純疱疹 带状疱疹	
用法・用量	単純疱疹:1回500mgを1日2回 带状疱疹:1回1000mgを1日3回		带状疱疹 1回400mgを1日1回	単純疱疹:1回250mgを1日3回 带状疱疹:1回500mgを1日3回	
半減期(hr)	2.96±0.41(単回経口投与)		7.06±0.29(単回投与:食後)	1.84±0.57(単回経口投与)	
特徴など	妊婦・乳汁中でも比較的安全に使用できる (妊婦・乳汁中時使用においての情報量が多い) 適応症が多い アシクロビルのエステル誘導体 つくば地域での使用量が多い		1日1回の内服で治療可 肝代謝のため腎機能に応じた投与量設定が不要 アシクロビル耐性株に使用できる PIT処方が可能(2023.02~)	皮膚病変の改善や带状疱疹後神経痛のリスク軽減の報告あり 耳鼻科領域…皮膚病変の項と揃えるなら報告あり	

※1「再発性の単純疱疹」にのみ適応を有する。

〈解説〉

有効性・安全性

日本では2024年1月時点で、4種類(アシクロビル、バラシクロビル、アメナメビル、ファミシクロビル)のヘルペスウイルス治療の内服薬がある。

各薬剤の審査報告書より、带状疱疹治療における有効性はバラシクロビル、ファミシクロビルともにアシクロビルに対する非劣勢が検証され、アメナメビルはバラシクロビルに対する非劣勢が検証されており、4剤の有効性に大きな差はないものと考えられる。

推奨の理由

有効性・安全性、各製剤の特徴(上記)を踏まえ、推奨薬をバラシクロビル、オプションとしてアメナメビル、ファミシクロビルとした。

本フォーミュラリはヘルペスウイルスの治療に対するフォーミュラリである。

推奨薬以外のヘルペスウイルス薬について

下記の理由により本フォーミュラリには掲載していないが、地域・施設の処方実績などに応じて掲載は可能と考えられる。

●アシクロビル:国内での使用実績が少なく、バラシクロビルと同等である。

国内外のガイドラインに標準治療薬として位置づけられているが、服用回数が1日5回と多く患者にとって利便性が悪い。

●ビタラビン:軟膏・クリーム・注射剤のみで錠剤はなし。

〈参考文献〉

1:日本神経感染症学会、日本神経学会、日本神経治療学会:単純ヘルペス脳炎治療ガイドライン2017

2:耳鼻咽喉科雑誌30(11)2014.7:スタチン不耐性診療指針作成ワーキンググループ(日本肝臓学会、日本神経学会、日本神経学会、日本動脈硬化学会
日本薬物動態学会)スタチン不耐に関する診療指針2018

3:造血細胞移植ガイドライン 2018年 日本造血細胞移植学会

4:NIID 国立感染症研究所 IASR